

# お家にかえろう

— 退院支援のご案内 —

みちしるべ



病気になっても自分らしく生きたいあなたのために

# これまでの生活を早く取り戻すために

病院での治療が一段落し、退院が可能となった時、あなたが帰りたい場所はどこでしょう？

本パンフレットは、病院での治療を終えるあなたが、次の療養先を考え、新しい生活を始めるための参考となる事からについて記載しています。

退院後、一日も早くこれまでの生活を取り戻す、あるいは新しい生活をスタートするための一助となれば幸いです。

千葉大学病院では、あなたがこれまでの生活を早く取り戻すことを支援しています。

Q.1 そろそろ退院できそうと言われた！  
まだ治療中じゃないの？ ..... 2

Q.2 療養先にはどんなところがあるの？ ..... 3

Q.3 自宅でも療養できるの？ ..... 5

Q.4 在宅療養のためには何が必要なの？ ..... 6

Q.5 在宅療養のこと、誰に相談したらいいの？ ..... 7

Q.6 他にも聞きたいこと、  
どこに相談したらいいの？ ..... 8

資料.1 在宅療養で受けられるサービス ..... 9

資料.2 在宅療養・その他の相談 ..... 13

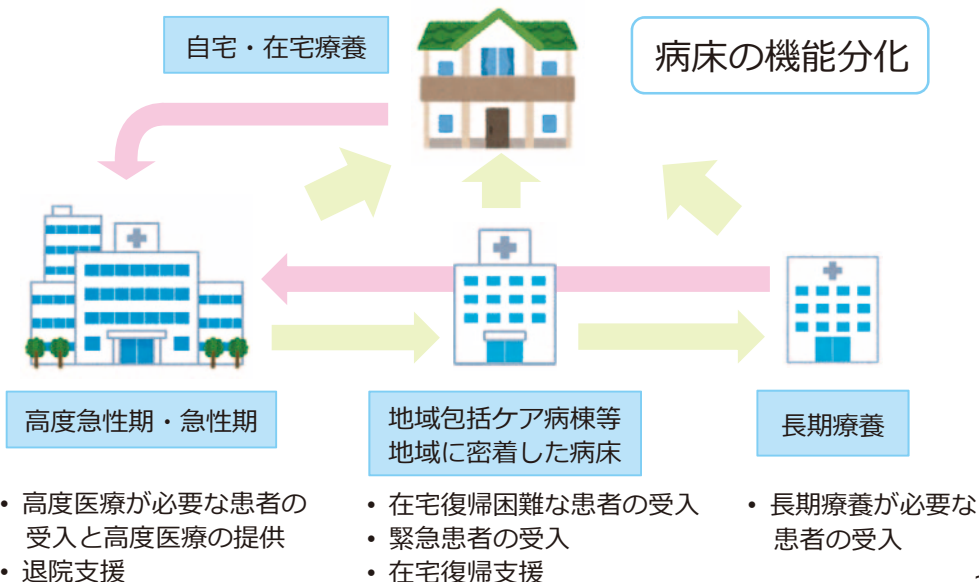
## Q.1 そろそろ退院できそうと言われた！ まだ治療中じゃないの？

A 必要な診断や治療が終わったら、退院して次の療養先で療養を続けていただくことになります。

当院は高度先進医療を提供することを目的とした病院です。したがって、少しでも多くの重症患者さんに高度先進医療を提供するため、必要な診断や治療が終了した方に、早期にこれまでの生活に戻っていただくよう、ご協力をお願いしています。

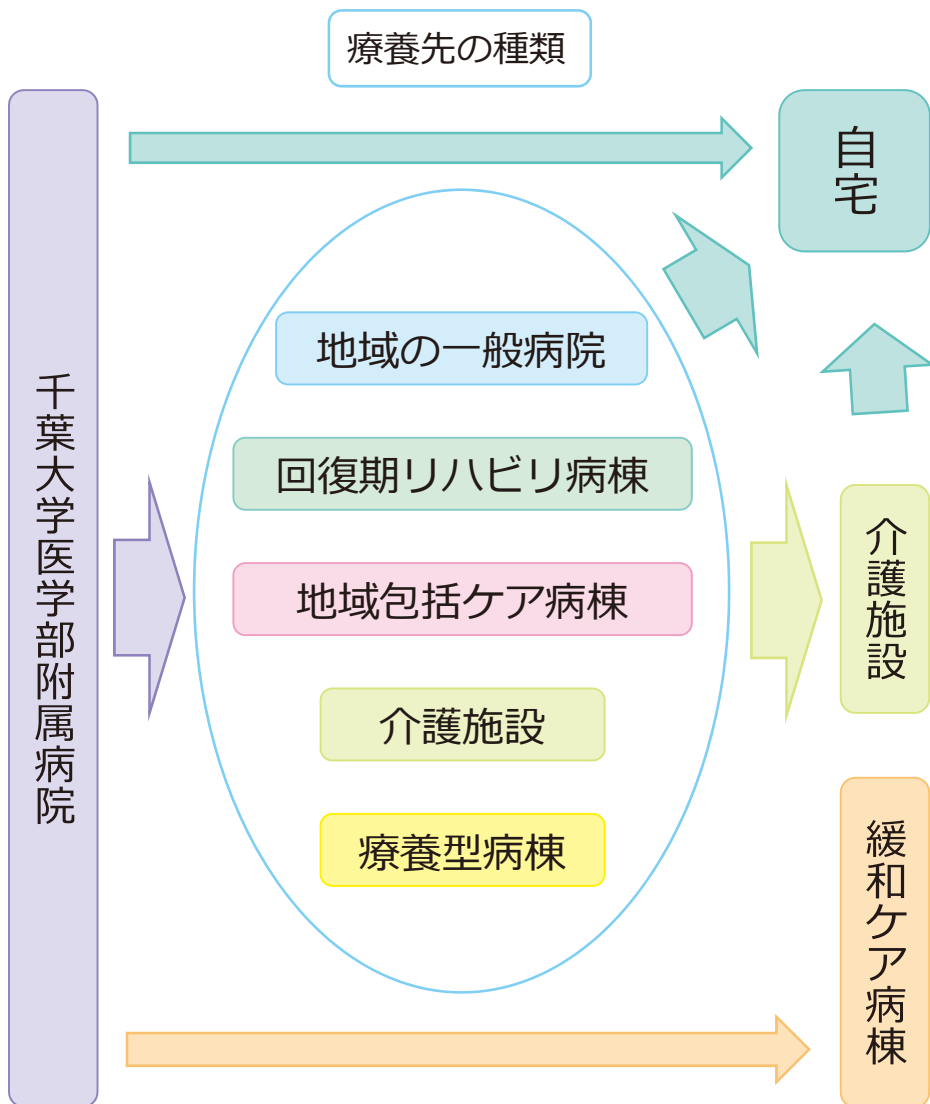
「まだ元通りに回復していないのに」と、入院継続を望む方は少なくありません。しかし病院での治療の終了は必ずしも入院前と同じ状態になることを意味するものではありません。

当院での診断や治療が終わった方には、ご自宅やその後の治療や療養に適した医療機関・介護施設などに移っていただくことが、これまでの生活に戻る近道だと考えています。



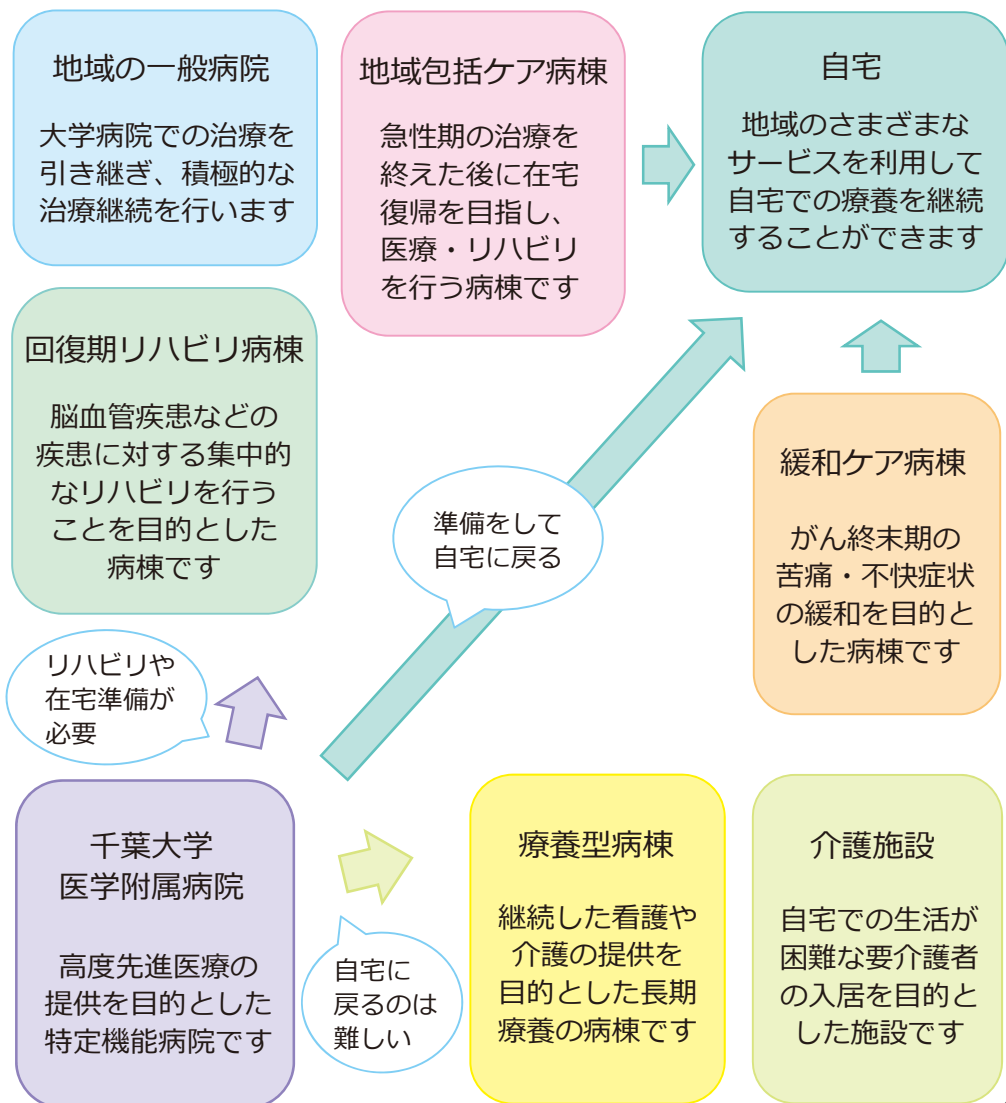
## Q.2 療養先にはどんなところがあるの？

A 退院後の療養先には、退院後に必要となる治療や介護の程度に応じて、さまざまな医療機関や介護施設があります。



退院後は、その後に必要な治療や介護の程度に応じて、自宅や医療機関、介護施設での療養を継続します。まずは自宅に戻れるか考えてみましょう。自宅が難しい場合、他の療養先について、一緒にご相談させていただきます。それぞれの医療機関や施設がどのような役割や特徴をもっているかを知ることは今後の療養先を決定するためにも重要です。

## 療養先の選定

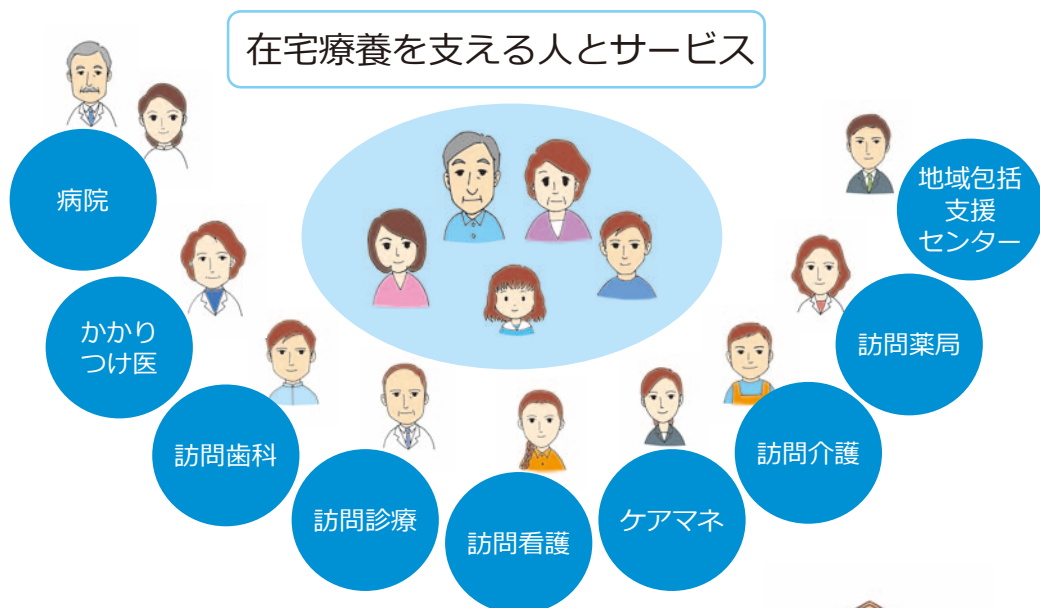


## Q.3 自宅でも療養できるの？

A 自宅でも医師による診療や薬の処方、看護師による医療処置を継続して受けることができます。

退院後も、入院していた病院と地域のかかりつけ医や訪問診療、訪問看護、訪問薬局との連携により、継続的な診療や医療処置、薬の処方などを受けることができます。

また介護保険の対象となる方は、要介護度に応じて、訪問介護や福祉用具レンタルなどの介護支援も受けられます。



### 在宅療養の長所は？



- 住み慣れた環境で毎日を過ごすことができる。
- 住み慣れた環境で必要な医療・生活の支援を受けられる。
- 終末期がんなどの痛みの緩和も在宅医療でできる。
- 自宅で最期を迎えることもできる。

## Q.4 在宅療養のためには何が必要なの？

A 退院後に必要となる医療処置や生活状況にあわせて、サービスの調整や物品の手配が必要です。

退院に際して、入院前にはなかった医療処置、できなくなったことはなんでしょう？ 医師や看護師に相談してどんな医療処置が退院後に必要か確認しましょう。リハビリスタッフにも相談して、どんなサポートが生活していく上で必要か確認しましょう。

在宅療養を支援する様々なサービスが用意されています。

### 在宅療養をささえるサービス

がんの痛みもあるのに…

トイレに行くのがやっとなのに…

#### 医療のこと

#### 生活のこと

##### 訪問診療

- 定期的な診療
- 緊急時の往診
- 疼痛の管理

##### 訪問看護

- 医療処置の管理
- ケアの実施
- 療養上の相談

##### 介護保険サービス

- 訪問介護の利用
- デイサービスの利用
- 福祉用具のレンタル

点滴は退院後も必要だって…



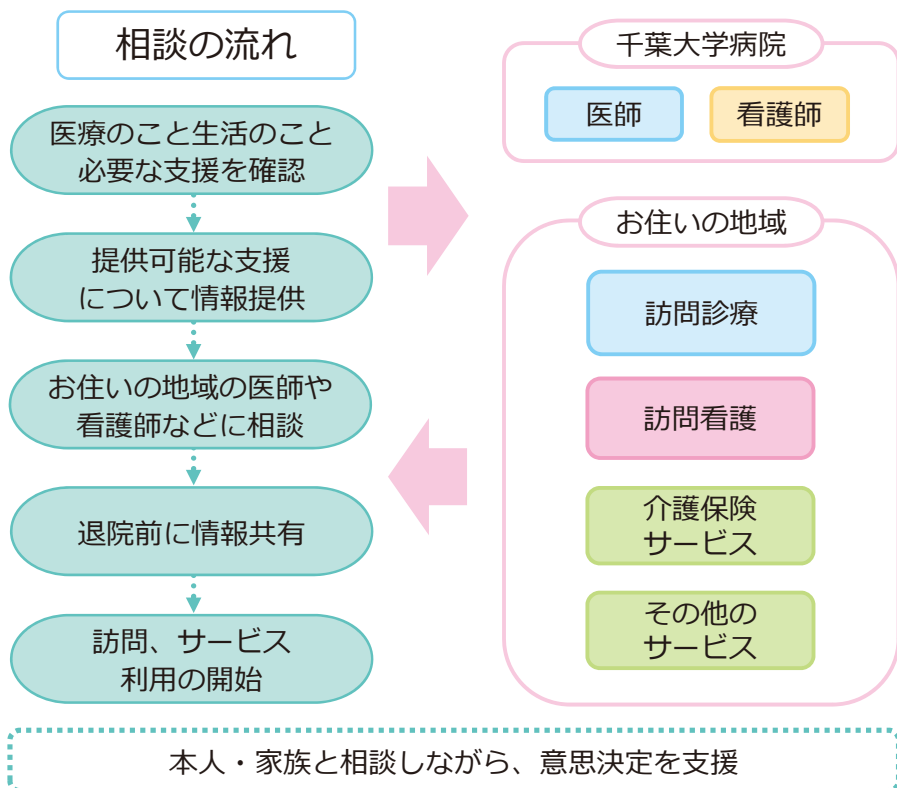
毎日の介護はちょっと…

## Q.5 在宅療養のこと、誰に相談したらいいの？

A 病院では医師や看護師、患者支援センターのソーシャルワーカーと看護師が、相談をお受けしています。

自宅で医療を受けるためには、訪問診療を行っている診療所や訪問看護を行っている訪問看護ステーションの手配が必要です。また生活環境を整えるために、介護保険の利用準備を行ったり、ケアマネージャーなどの支援を受ける必要があります。

病院ではソーシャルワーカーや看護師が、疾患や年齢など個々の状況に応じた支援・相談を行っています。





## Q.6 他にも聞きたいこと、 どこに相談したらいいの？

A 病院では患者支援センターやがん相談支援センター、地域では市区町村役場に担当の窓口があります。

病気の治療がどうなるのかはもちろん、経済的なこと、仕事のこと、家族のこと、今後の生活のこと、病気になったことによる様々な不安や心配ごとについても相談をお受けしています。

病院では患者支援センターやがん相談支援センターが相談窓口となります。またソーシャルワーカーや看護師が、地域の適切な窓口をご案内します。

### 相談の窓口

#### 患者支援センター

医療費の  
ことが心配



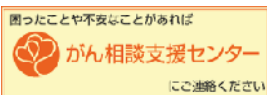
利用できる制度  
を知りたい

転院と言われ  
たけど…

#### がん相談支援センター

仕事のこと  
で相談したい

緩和ケアって  
どんなもの？



#### 地域の相談窓口

自宅での介護  
や看護が不安



## 資料.1 在宅療養で受けられるサービス

### 訪問診療

訪問診療では医師や看護師が自宅や施設を定期的に訪問し、診察や治療を行います。痛みのコントロールも含めた一連の医療を受けることができます。病院からの医療の継続や、緊急時の往診にも対応しています。

点滴や経管栄養を受けていても大丈夫？

痛みはとってもらえるの？

緊急時も来てもらえるの？



### 訪問看護

医師の指示のもと、看護師が自宅を訪問し、心身の健康状態や療養、介護の状況などを総合的に判断して必要なケアや医療処置を行います。また、本人や家族の相談にのりながら、療養生活がスムーズに行えるように支援します。

痛みや不安がある時も来てもらえる？

療養相談にも  
のって  
もらえる？

家族だけで処置をするのは不安



## 医療のこと

### 訪問薬局

在宅療養をおこなう中で、薬に関することで、心配なことや困ったことがあった時は、薬剤師からアドバイスを受けることができます。また、薬局へ行くことが困難な場合は、自宅に薬を届けます。

どの薬を飲むのか  
わからない

薬の副作用が  
心配

薬局に行く  
のが大変

薬が  
のみにくい



### 訪問歯科

歯と口腔内のトラブルは全身にも悪影響を及ぼすことがあります。歯科医師や歯科衛生士が自宅へ訪問して、むし歯の治療や入れ歯の調整、口腔ケアなどを行う訪問歯科診療を利用することができます。

入れ歯の具合  
が悪い

むし歯を治療  
したい

うまく  
飲み込めない



## 資料.1 在宅療養で受けられるサービス

### 介護保険 サービス

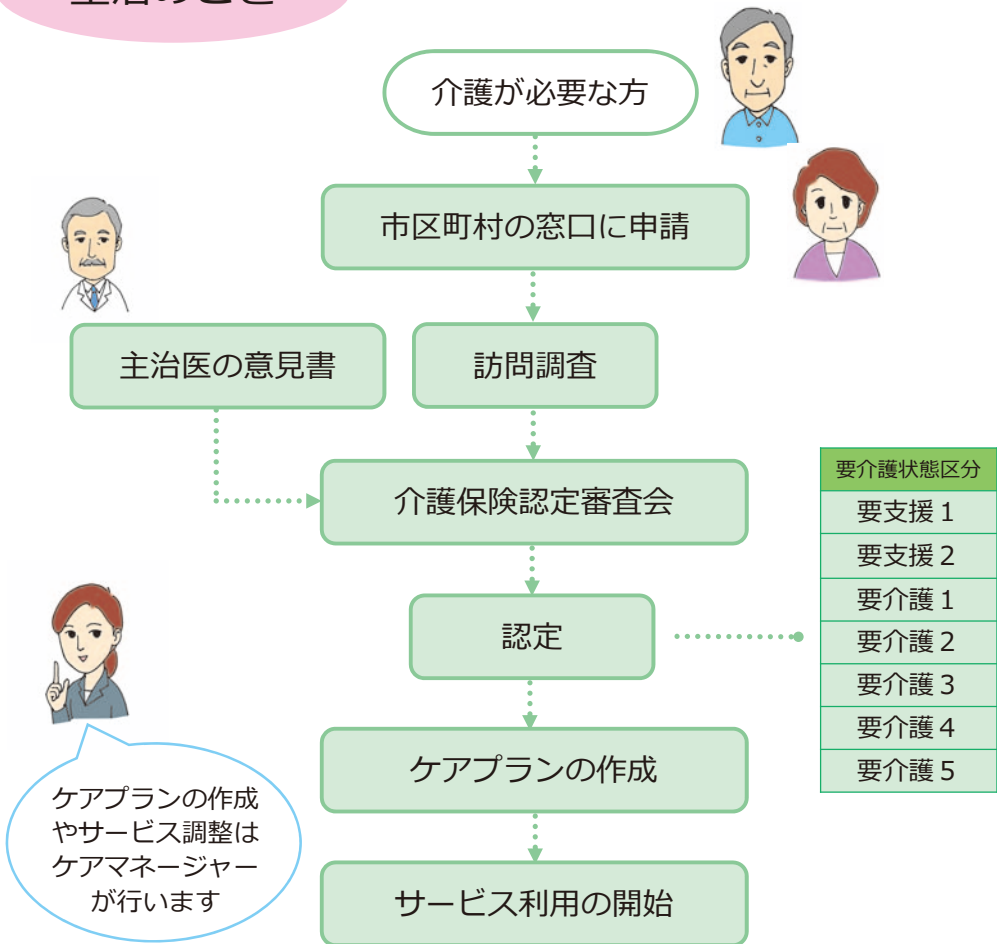


在宅生活で介護が必要な場合は、介護保険を利用したサービスを受けることができます。入浴・排泄・食事などの訪問介護サービスのほか、介護用ベッドなどの福祉用具レンタルも利用可能です。

利用にあたっては、介護認定の申請を行う必要があります。

訪問介護	ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や、調理、掃除などの生活援助を行います。
訪問入浴介護	自宅を入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車などで訪問し入浴の介護を行います。
訪問看護	訪問看護ステーションや医療機関の看護師などが、主治医の指示のもとに、自宅を訪問し、病状を観察したり、診察の補助などを行います。
訪問リハビリ	理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が自宅を訪問し、リハビリテーションを行います。
デイサービス	デイサービスセンターなどで、入浴、食事の提供や機能訓練などを日帰りで行います。
デイケア	介護老人保健施設や医療機関などで、入浴、食事の提供やリハビリテーションを、日帰りで行います。
ショートステイ	短期間泊まる短期入所施設などで、介護や機能訓練などを行います。
福祉用具	日常生活の自立を助ける用具を貸りたり、福祉用具を購入する際の費用が、一部支給されます。
住宅改修	住宅改修に要する費用の一部が支給されます。

# 生活のこと



ケアプランの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問看護	通所介護	訪問介護	訪問介護	通所介護	訪問介護	訪問介護
午後	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問介護



## 資料.2 在宅療養・その他の相談

### 患者支援センター

患者支援センターのソーシャルワーカーや看護師が、各病棟の医師・看護師と連携しながら、入院中の患者さんの相談をお受けしています。

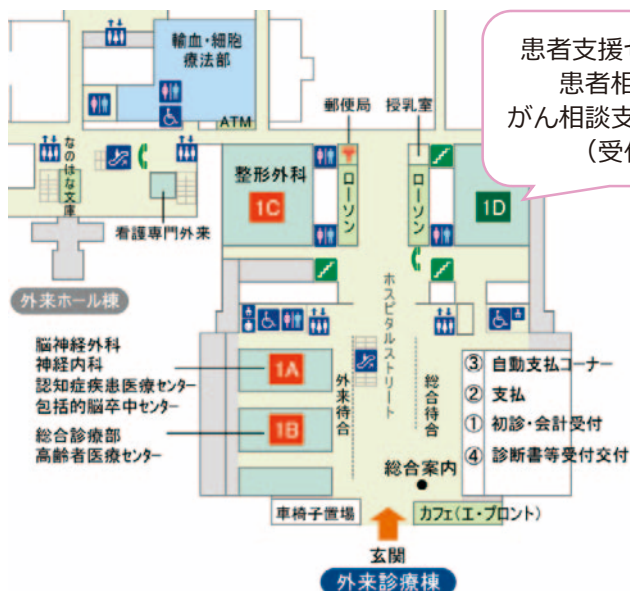
在宅療養をはじめとする療養先の相談や、各種制度の利用など、支援が必要な場合は、主治医や病棟の看護師にお声がけください。病室や面談室でご相談させていただきます。

### 患者相談窓口

患者さんおよびご家族の方からのご意見、療養上の不安など、さまざまな相談に対応するため、患者支援センター内に患者相談窓口を設置しております。どうぞお気軽にご相談ください。

受付時間：月曜日から金曜日の 8:30～17:00

受付場所：患者支援センター内患者相談窓口（受付5）



患者支援センター  
待合室

## がん相談支援センター

がん医療の提供体制や治療内容の地域による格差を減らし、全国どこに住んでいても、がんの状態に応じた適切な医療が受けられるように「がん診療連携拠点病院」が設置されており、当院も国から指定された「**がん診療連携拠点病院**」の一つとなっています。

『がん相談支援センター』は、がん診療連携拠点病院の事業として実施されていて、がん患者さんやそのご家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等を行うことにより、質の高いがん医療の体制を確立することを目指しています。



がん相談支援センターは、ご家族だけでも利用可能です。また、当院の患者さん以外の方のご相談もお受けしています。

- ・「医療費のことが心配…」
- ・「利用できる医療福祉制度を知りたい」
- ・「自宅での療養や介護が不安」 …など



がん患者さんやご家族の医療と福祉に関する相談を、専門の相談員（がん相談の研修を受けたソーシャルワーカー、看護師）がお受けしています。相談内容によっては、専門資格を持った看護師におつなぎします。どうぞお気軽にご利用ください。

**がん相談支援センター**（外来診療棟1階患者支援センター内）

**☎043-226-2698** ※月～金曜日の 9:30～16:30

ご来訪の場合は、**平日 8:30～17:00**の間にお越しください



発行：千葉大学医学部附属病院  
地域医療連携部

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL:043-222-7171（代表）

※この冊子は、NPO法人医療・福祉ネットワーク千葉の「先端がん医療」研究助成を受けて作成しました。